

観光ルート開発モデル（旅行事業者対象伝統文化）業務実施報告書（概要版）

事業目的

多摩地域の伝統・文化の体験をメインに、多摩の魅力ある食材を活かした食体験もできる日帰りモニターツアーを実施する。

事業内容

今後回復が想定される訪日外国人をターゲットに「江戸を創った東京に触れる旅」と称し「森と技」「水と技」の2コースを設定。
多摩エリアの伝統文化を生み育んだ自然を体感し、「森」と「水」の恵を活かした日本の食文化である「お弁当」を楽しみ、最後に伝統文化を学び体験するというストーリー性ある観光ルート開発を実施する。

森と技コース 2022年10月6日実施

9:00 立川駅発→10:30 “森”を感じるプログラム@登計トレイル→
13:00 “森”を楽しむランチ（NIPPONA小菅ヘッドシェフ特製ランチBOX）→
14:30 “技”に触れるプログラム@森と市庭 工房 →19:00 立川駅解散



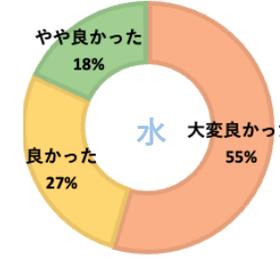
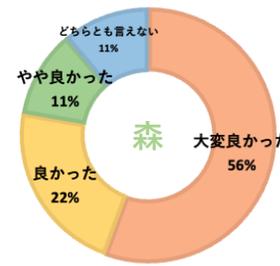
水と技コース 2022年10月20日実施

8:40 立川駅発→9:40 “水”を感じるプログラム@御岳渓谷→
11:40 “水”を楽しむランチ（NIPPONA小菅ヘッドシェフ特製ランチBOX）→
13:30 “技”に触れるプログラム@壺草苑 →17:30 立川駅解散

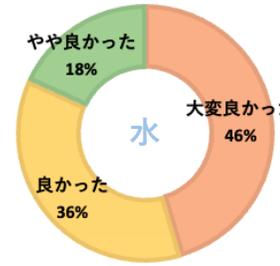
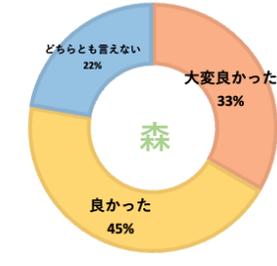


アンケート結果

Q. ツアー全体を通していかがでしたか



Q. ツアーの行程はいかがでしたか



■ 大変良かった ■ 良かった ■ やや良かった ■ どちらとも言えない ■ あまり良くなかった ■ 全く良くなかった

森と技コースは天候が悪く、記録的な寒さで屋外でのプログラムだったため、どちらとも言えないという回答があったが、全体としては8割が満足いただけた。

事業の成果

- ・奥多摩エリアの観光資源開発
本事業を通して新しい事業者と関係を構築することができたこと、奥多摩の地域の魅力を改めて開発することができた。
- ・ストーリー性のあるツアー構成
アンケートで特に好評であったのは、ストーリー性のあるツアー構成で江戸を支えた多摩の自然を「体全体で体感し→食で楽しみ→伝統文化を体験する」というツアー構成を実施できたことが成果であった。
- ・SDGsへの関心の高さの再認識
伝統文化体験のアンケートより環境配慮や循環型社会への関心の高さがうかがえた。今後の観光プログラム開発においても改めて商品価値があることを認識できた。

課題と今後の展開

- ・ツアー規模の検討
アンケートより観光資源が点在しているが個人では行きづらく山道も多いため、マイクロバス級の輸送が限界であるため、今後も10名程度の少人数で高価格帯のツアー造成を検討していきたい。
- ・各事業者との事業展開検討
ツアー終了後、数社の旅行会社よりご連絡をいただいた。今後のプログラム開発や協業など引き続き検討していきたい。